

公共事業の旗振り役



オリジナル設計 施設本部
東日本施設部施設三課

平澤 貴典さん

です。その施設に最適な機種を選定はどうしたら良いか、円滑に工事を進めるにはどのような配慮や工夫が必要か等、顧客の声に耳を傾けつつ最適な提案を心がけています。

設計という「図面と睨めっこする、図面を引く」イメージをもたれがちですが、部署を跨いでチームを編成し、自治体に代わり処理場設備全体の更新プランを立案することもあり、幅広い分野の業務に携わることができ、国内のみならず、海外にも仕事のチャンスがあります。

■ワークライフバランス実現へ

コンサルタントは人がすべての会社です。当社は業界内でも率先して従業員が働きやすい労働環境づくりを目指し、ワークライフバランスの実現へ各種取り組みを進めています。フリーアドレスやテレワーク環境を整えられており、加えて在宅勤務制度など、自由なスタイルで仕事が行えるのも魅力です。

■顧客の声に耳を傾ける

現在入社4年目で、下水処理場の機械設備の設計担当部署に所属しています。処理場にはさまざまな種類・役割の機械設備があります。新たな機械設備の設置や、老朽化した機械設備の更新などを手がけるのが主な業務

■公共事業の旗振り役
学生時代は水・熱の流体力学が専攻でした。下水処理の課程で行う曝気(微生物を活性化させるため液中に酸素を供給す

ること)効率の数値計算を研究題材とするなど、下水道に関心がありました。私自身、秋田県出身で、仕事を通じ地元貢献がしたいとの思いが強



顧客のやる気向上とともに、会社全体の業績も年々右肩上がりのようです。インターンシップも受け付けていますので、ぜひ私たちの仕事を肌で感じてみてください。